

タズミ

産廃管理を大幅効率化

排出事業者に提案強化

電マニ導入、ASPサービスも

産廃廃棄物・一般廃棄物処理や再生資源リサイクル、RPF製造などを手掛けるタズミ(本社・神奈川県綾瀬市、田墨幸一郎社長、0467・77・1

847)はこのたび、産廃廃棄物管理票(マニフェスト)について、電子マニフェストによる管理とASPサービスを提供するシステムを導入、管理や紙マニ



顧客の利便生む向上

フェスト(D票)返送などにかかっていた事務を大幅に効率化した。同社では、「事務に係る工数を従来の3分の1程度に減らすことができるようになる」、紙マニ紛失防止などコンプライアンス徹底にもつながる。少量で頻度の少ない顧客の排出事業者に対しても電マニ移行の機会と捉えて提案している」と述べている。

建設系を含む各種固形廃棄物の破砕・選別(吉岡リサイクルセンター)やOA機器分解(早川第2工場)、RPF製造(早川RPF工場、プラターン海老名工場)などさまざまな事業を展開しており、顧客をふやしてきた。

顧客数の増加とともに、管理徹底のため、従来からエスエムエス(本社・和歌山市)の産廃管理ソフト「産廃

イチロー」を導入し、活用してきた。さらに、事務効率化とコンプライアンス向上のため、エスエムエス製の電子マニフェストによる管理システムとASPサービス提供のシステムを導入した。

顧客の中には紙マニフェストで対応している企業も少なからずあるが、タズミを利用代

表者としてJWNETに団体加入すること、新たな費用負担がなく、電子マニフェスト化できるため、今回の新たなシステムを提案している。また、エスエムエス社によるASPサービスでは、排出事業者がPCやタブレット、スマホを通じてIDとパスワードでクラウド上の各社専用

ページにログイン。産業廃棄物の量の管理やその時々処理行程をリアルタイムでチェックすることができ、他、任意の形式でデータ管理ができる。

直近6カ月で50社を数え、顧客の一つである地元の海老名市も9月から各施設の電子マニフェストを導入した。

今期の導入実績は、